

福岡県

田中 理貴
Riki Tanaka

商工部新事業支援課 主任主事

2012年福岡県庁に入庁。2019年4月より中小・ベンチャー企業と大手企業・金融機関等のビジネスマッチングの場「フクオカベンチャーマーケット（FVM）」を運営。2022年4月よりスタートアップとアトツギを支援するアクセラレーションプログラム「ISSIN（イッシン）」の運営、起業家育成・交流の場の提供を行う「福岡ベンチャークラブ」の運営等に従事。



八幡平市

中軽米 真人
Makoto Nakakarumai

商工観光課 企業立地推進係長

育てた起業家が次世代を育成するエコシステム「起業家志望者プロジェクト」を創始した星野。世界中から起業家志望者を集めて過疎地にテックベンチャーを産出し事業計画立案から資金調達、事業のスケールアップまでコミットする。新規事業立上げが大好き。関与した企業は倒産ゼロ。「おもしろいか、おもしろくないか」だけを行動原理に生きる。



北九州市

大下 義邦
Yoshikuni Oshita

東京事務所 首都圏企業誘致担当課長

平成9年、北九州市役所入職。職員給与などの内部管理のほか、イベント・国際スポーツ大会運営などに従事。現在は、東京事務所にて、北九州市への工場・事務所進出や本社移転などの企業誘致活動や、スタートアップ企業の実証事業支援などを担当。



浜松市

宮野 浩和
Hirokazu Miyano

産業部 スタートアップ推進課 副主幹

2003年浜松市役所入庁。情報管理、税務部門を経たのち、地元金融機関にて中小企業支援を学び、産業部門にて海外展開支援に従事する。また、市の官民連携推進窓口及び民間からの発案・提案制度の立ち上げを担当。2022年7月より現職。スタートアップが生まれ、集まり、育つエコシステムを持つ都市「浜松バレー」の実現を目指す。



山田 遼太
Ryota Yamada

商工観光労働部 企業政策局
産業技術政策課 副主査

平成25年入庁。平成31年に経済産業省新規事業創造推進室へ出向し、J-Startupプログラムやグレーゾーン解消制度の運用に従事。令和3年に現在の産業技術政策課へ配属となり、スタートアップ支援や県外スタートアップの誘致に取り組む。趣味は、スタートアップの熱い想いや新しいアイデアを聞くこと。



大田区

伊藤 明江
Akie Itou

産業経済部 産業振興課
産業交流担当課長

平成9年大田区入庁。生まれも育ちも大田区大森。子どもの貧困対策、要配慮者の災害対策等を担当し令和4年度から現職。天空橋直結！羽田空港近接！羽田イノベーションシティの区施設活用スペース HANEDA×PiO、交流空間PiO PARK活用で新産業創造・発信に取り組む。PiO PARKでお待ちしています！



北九州市

宮浦 敬紀
Keiki Miyaura

東京事務所 首都圏企業誘致担当係長

平成24年、北九州市役所入職。区役所で生活保護を担当。総務省自治財政局に派遣。派遣終了後は、財政課にて予算編成業務に従事し、令和3年から東京事務所にて企業誘致及びスタートアップ企業の支援を担当。



西条市

曾我部 智弥
Tomoya Sogabe

産業経済部 産業振興課
産業政策係 専門員兼係長

平成14年、西条市役所に入庁し教育委員会を経て経済産業省四国経済産業局に出向。以来、産業、秘書、福祉部門や議会事務局を歴任し、現在は地域企業の採用力向上や職場環境改善に向けた取組をサポートする「まちの人事部」を展開しながら、地域企業がともに成長できるしくみの構築を目指している。



東広島市

栗栖 真一
Shinichi Kurisu

東広島市 経営戦略担当理事
(広島大学客員教授)

地元の東広島市役所に入庁後、国際交流、政策調整、観光、保育等を担当、産業振興係長、人事係長、職員課長を経て、現職。現在は、大学との連携や国際化推進、公共交通、スマートシティ推進等を所管。「人はなぜ行動するのか」という考え方を基本に、好奇心とワクワク感を大切にしながら新たなことに取り組んでいる。



横浜市

田長丸 祥成
Yoshinari Taosamaru

経済局 イノベーション都市推進部
新産業創造課

2018年横浜市入庁。区役所にて、主に施設管理業務を担当し居心地の良い区庁舎の環境づくり等に従事。2021年より現職にて、オープンイノベーションの推進を担当。横浜からイノベーションにより新しいビジネスが創出される環境づくりに取り組んでいる。



西条市

戸田 和宏
Kazuhiro Toda

産業経済部 産業振興課
産業政策係 産業政策担当専門員

平成15年、西条市役所に入庁し農林水産課を経て農林水産省に出向。以来、秘書、市民協働（コミュニティ）、企画部門を歴任し、令和3年4月から現職。現在は、新型コロナウイルス感染症の経済対策等を担当。



横須賀市

永田 翔吾
Shogo Nagata

経済部 創業・新産業支援課
新産業支援担当 主任

2012年4月に横須賀市役所へ入庁。土木部道路管理課にて、道路境界線確定業務等の用地関連業務に従事。2017年度、2018年度に全国市長会へ出向、治水、都市公園、積雪寒冷地、廃棄物の分野において地方の要望を取りまとめる、所管省庁に要望する活動に従事。2019年度より横須賀市へ帰任し、横須賀リサーチパークの研究開発推進業務に従事した後、現職。



前橋市



谷内田 修
Osamu Yachida

政策部 スマートシティ推進監

1989年入職。2015年に「総合戦略」「民間共創」「前橋〇〇特区」等を所管後、2017年よりふるさと納税の「タイガーマスクプロジェクト」「きふと。」、未来型政策の「官民ビックデータ活用によるEBPM」「人材育成定着のぶくプラットフォーム」「SIB事業」、そして「スマートシティ」「スーパーシティ」を所管。

宇部市



弘中 秀治
Shuji Hironaka

産業経済部 成長産業創出課 主幹

防災危機管理課に17年在籍し、必要を感じて気象予報士となる。また現在も、官民両方がわかる災害ポテンティアとして各地へ支援活動をするとともに、防災講演活動も続けている。2019年からスタートアップ、スマートシティ宇部プロジェクトを担当するとともに、2021年からは「ときわ公園実証フィールド活用プロジェクトチーム」にも選任されている。

大阪産業局



中川 賀史
Yoshifumi Nakagawa

イノベーション推進部
スタートアップエコシステム事務局

旅行会社、イベント会社を経て、2007年に前職のATRに入所。それ以降、現職の大阪産業局に転出、人材育成や実証実験支援など中小企業支援を行い、2014年より、大阪イノベーションハブにて、スタートアップ支援や産学連携業務に従事。昨年度より、大阪産業局に転籍した。今年度より、奈良先端大の特任准教授を兼務。

つくば市



屋代 知行
Tomoyuki Yashiro

政策イノベーション部
スタートアップ推進室長

つくば市出身。民間研究職を経て2006年につくば市役所へ入庁。経済産業省（2008～2010年）、企画（総合計画作成）、防災（災害対策本部、MCLS修了）、現市長の政策秘書などを経て現職。「スタンドバイ・スタートアップ」「ディプロシティつくば」をビジョンに掲げ「筑波研究学園都市」を舞台にディープテックによるスタートアップの創出・成長を支援中。

渋谷区



鈴木 陽一郎
Yoichiro Suzuki

産業観光文化部
グローバル拠点都市推進室

2015年東京急行電鉄（現、東急）入社。渋谷駅前エリアマネジメント等渋谷の開発に関わる官民連携プロジェクトを歴任。2020年4月より渋谷区へ派遣、渋谷区のグローバル拠点都市推進室に在籍。

神戸市



武田 卓
Taku Takeda

企画調整局医療・新産業本部
新産業部 新産業課 課長

中途採用で神戸市入庁。2019年に様々な行政課題解決のための改善策を検討し、関係部署や官民の間の「つなぎ」と、連携強化を進めるが課題解決に専く専門部署「つなぎ課」の特命課長として着任。2020年より医療・新産業本部新産業課長に着任。「500 KOBE ACCELERATOR」など神戸市のスタートアップ育成・集積の推進を図る。

神戸市



中沢 久
Hisashi Nakazawa

企画調整局医療・新産業本部 新産業部 新産業課 統括イノベーション専門官

大学卒業後、NTTコミュニケーションズに入社し、アジアでの事業開発・外資系企業買収担当・外資系営業などを経験。2018年、神戸市入庁。以来、行政によるスタートアップとのオープンイノベーション事業「Urban Innovation KOBE」に従事。「Urban Innovation KOBE」の課題解決率は、8割を超える。座右の銘は「死ぬまで生きる」。

裾野市



中原 義人
Yoshito Nakahara

市長戦略部 戦略推進課 係長

平成15年裾野市入庁。交通安全、広報、情報システム、産業振興担当を経験し令和4年4月から現職。着実な足元事業の推進と未来志向の計画に基づく施策の両輪をデジタル技術やクリエイティブマインドで突破していくための企画調整に取り組み。裾野市はWOVEN CITYの街として近年話題に。個人的にはシビックテックにも取り組んでいる。

大府市



戸田 稔彦
Toshihiko Toda

産業振興部 ウェルネスバレー推進室長

1981年愛知県名古屋生まれ。2004年経済産業省に入省。航空機産業政策、地域経済産業政策、中小企業政策に従事しつつ2015年に修士号取得、EU離脱決定直後の2017年英国に語学留学。2021年4月に転出で入庁。医療、福祉、工業等の地域資源を活かしたエコシステム「ウェルネスバレー」を通じた全国スタートアップとの連携強化に奔走中。

豊田市



清水 智哉
Tomoya Shimizu

企画政策部 未来都市推進課 主幹 副課長

1999年4月豊田市役所に入庁。愛知県庁情報企画課、内閣府大臣官房企画調整課、トヨタ自動車トヨタZEVファクトリー等、キャリアの約半分を庁外にて勤務。豊田市では、交通政策課、経営戦略本部を経て、環境モデル都市推進課にて、スマートコミュニティ実証に参画。現在に至るまで、エネルギー・モビリティ・ウェルネス分野での多くの産官学連携実証に従事。出雲観光大使（2019年～）

仙台市



寺牛 慎貴
Masataka Teraushi

まちづくり政策局政策企画部
プロジェクト推進課 空港港湾担当課長

平成7年仙台市に入庁。間に区役所障害高齢課・環境局総務課を挟みつつ、職歴の2/3を公営企業（仙台市ガス局）で過ごした後、経済局で農業振興、中小企業支援に従事する。現職には令和4年4月に配属され、主担当の空港港湾関係業務のほか、公民連携等に携わっている。

大阪府



大平 幸一
Kouichi Ohira

スマートシティ戦略部 戦略推進室
地域戦略推進課 課長補佐

1994年に大阪府へ建築職として入庁。これまで府営住宅の建替等工事、まちづくり、景観、民間住宅の耐震対策などの業務を担当。令和2年度から新設されたスマートシティ戦略部へ配属。大阪スマートシティ・パートナーズ・フォーラム（約400企業・団体が参画）において各種プロジェクトの実証を担当。今年度より事務局にて運営・企画等を担当。

応援自治体 STA-Mem47

京都府

川口 高司
Takashi Kawaguchi京都知恵産業創造の森
スタートアップ推進部 次長

民間企業を経て、2011年京都市役所入庁。伝統産業振興や、スタートアップ支援拠点の立ち上げ業務などに従事。また、JETRO（大阪・ベトナム）への出向中には、中小企業の海外展開支援（主に食品関連）を行う。現在は、（一社）京都知恵産業創造の森にて、京都スタートアップエコシステム形成の促進及び、京阪神のエコシステム連携事業等を担当。

内閣府

宇田川 徹
Toru Udagawa

科学技術・イノベーション推進事務局 企画官

イノベーション推進担当の企画官。スタートアップ・エコシステム拠点都市、オープンイノベーションチャレンジ、SBIR制度（研究開発型スタートアップ向けの支援制度）など、内閣府における主要なスタートアップ政策の企画と立案、運用を担っている。

佐賀県

村川 敬積
Takazumi Murakawa産業労働部 産業政策課
DX・スタートアップ推進室 主査

大学卒業後NTT西日本に入社。新規事業や新商材マーケティングに従事。2017年佐賀県庁入庁後空港課、2020年から現所属にて、資金調達支援プログラム「Startup Boost SAGA」やビジネスマッチング支援事業の企画運営を担当している。「規模のハンディをつながらで乗り越える」をモットーに佐賀だからこそできるエコシステムの形成を目指し奔走中。

神奈川県

三浦 圭佑
Keisuke Miura

産業振興課 主任主事

東京都世田谷区出身。新聞社を経て、2013年神奈川県庁入庁。シンクタンク部門で政策研究業務や大学連携事業に従事。2019年度は横浜銀行ソリューション営業部に研修派遣。2020年度から産業振興課でスタートアップ支援事業に従事。

豊橋市

室井 崇広
Takahiro Muroi

産業部 地域イノベーション推進室

平成24年入庁し、平成29年に経済産業省へ出向。経済産業省では地域企業高度化推進課に所属し、地域に経済波及効果の高い企業を地域未来牽引企業として選定するなど、地域企業への支援に奔走。令和3年度から豊橋市に新設された地域イノベーション推進室に所属し、スタートアップ支援や新規事業創出支援を行う。

愛知県

金丸 良
Makoto Kanemaru

経済産業局 革新事業創造部 スタートアップ推進課 拠点推進グループ 主任

平成23年に愛知県庁に入庁後、中小企業の経営支援等に従事した後に、大手民間シンクタンクに出向し、PFI関連業務等に携わる。その後、航空宇宙産業支援を経て、現職。スタートアップ推進課では、スタートアップの資金調達支援、海外展開支援やインキュベーション施設「PRE-STATION AI」の運営を担当。

名古屋市

鷺見 敏雄
Toshio Sumi
経済局 イノベーション推進部
スタートアップ支援室長

名古屋市入庁後、市立大学を経て、経済局にて産業振興に取り組む。創業支援や産学連携事務に従事、ロボカップ2017名古屋世界大会を機に社会実証など各種ロボット・AI関連施策を企画。「NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE」や「なごのキャンパス」の開設に関わり、スタートアップ支援室の初代室長として、スタートアップ施策や社会実証支援を推進。

泉佐野市

赤坂 英輝
Hideki Akasaka
東京事務所長

1991年に電気技術職として泉佐野市に就職。関西国際空港の開港に間に合わせるべく始まった総合文化センター建設後に総務課で公有財産管理を担当し、建築住宅課で小中学校の空調導入や耐震化等を経て成長戦略室へ異動。主に企業誘致やインバウンド需要の創出を手がけ、2020年に東京事務所長として就任してからは、地元へ事業や人材を呼び込む仕事に従事している。

Coming soon